

地名 散歩

第112回 「別名」を持っていた川

一般財団法人日本地図センター客員研究員 今尾 恵介

明治5年(1872)に新橋～横浜間で日本初の汽車が走った後、関東で2番目の鉄道となったのは東北本線の前身、日本鉄道中仙道線である。最初に上野～熊谷間が開通したのは明治16年(1883)で、上野を出て最初に渡る鉄橋の名が、王子駅のすぐ先にある音無川橋梁だ。現在の石神井川(現在は地下を流れている)であるが、当時の下流部は音無川と呼ばれていた。台地を穿つ付近の溪谷はいくつかの滝がある景勝地として知られ、その急流の様子から滝野川(滝ノ川)とも呼ばれた。こちらは現役の地名である北区滝野川に残り、また少し上流側に架かる埼京線(赤羽線)の滝ノ川橋梁にその名をとどめている。

東海道本線が川崎の手前で多摩川を渡るのは六郷川橋梁で、さらに神奈川県内の平塚の手前で相模川を渡るのは馬入川橋梁である。

このように現在ふつうに呼ばれている河川名と橋梁名が異なるのは、鉄道当局がことさらに古い呼び名を好んだとか趣味人が多かったというわけではなく、単に明治期の建設当時に鉄道が渡った下流部がそれぞれ六郷川、馬入川と呼ばれていたのを反映させたに過ぎない。東海道本線は全通が明治22年(1889)と古いため異称が目立ち、名古屋駅の先の庄内川を渡るのも枇杷島川橋梁と称する。

鉄道橋梁はこのように過去の呼び名を記念碑のように残しているのだが、河川管理当局にとっては、川にいくつも名前があっては不都合だ。そこで上流から下流まで本川(本流)を統一した呼び名にする。地図もおおむねそれに合わせて記載するため、河川の呼び名の多様性は徐々に失われつつあるのが現状だ。

日本には地名を管轄する国家機関がないた



さまざまに呼ばれていた東京の隅田川(旧荒川本流)。両国橋の上流側には宮戸川とあるが、すぐ下流側は大川と記されている。和楽路屋『東京市街全図』大正14年(1925)



徳島市の北側を東流する吉野川の最下流部は三角洲を形成し、広戸川、今切川、別宮川に分かれて紀伊水道に注いでいた。1:200,000輯製図「徳島」明治35年(1902)修正

め、自治体名など正式に決まっているもの以外、例えば山や川などの自然地名は「正式」が存在しない。川の場合はとりあえず国土交通省の呼び名を用いているのが実情である。ただ、どうしても一本化できなかった川もあり、国土交通省の「全国109の一級水系」リストでも「信濃川(千曲川)」と四国の「渡川(四万十川)」にはカッコで異称が入っている。このあたりは広範囲での定着度などを加味して加えられたようだ。

カッコつきの2例でわかる通り、四万十川が「渡川とも呼ばれる」(『角川日本地名大辞典』の表現)と説明されるように名称が2通り存在する場合と、新潟県内が信濃川、長野県内が千曲川と上流・下流ではっきり分かれているものなど、別名といっても単純ではない。前述の六郷川は多摩川の下流部のみの呼び方で、馬入川や音無川も同様だ。もちろん場合によっては流れ下るに従って変わっていくもの(大堰川→保津川→桂川など)があり、その名称の守備範囲も確定されていないことは珍しくない。いずれにせよこれらの異称・別名が古い地図であるほど多く発見できることだけは確かだ。

明治期の地図で全国をざっと見渡して印象に残ったのは、大川と呼ばれる川がいくつも見つかったことである。東京の隅田川が下流部で大川として親しまれてきたのは有名だが、浅草あたりでは古典落語の演目で知られる「宮戸川」と呼ばれた。他には青森県の岩木川と岡山県の高梁川のそれぞれ下流部、そして会津盆地を流れる阿賀川がそれぞれ大川で、会津の大川は今の地形図(地理院地図)でも「阿賀川(大川)」の表示になっている(新潟県内では阿賀野川)。そういえば私が子供の頃に福井の曾祖母の家へ遊びに行った際に、すぐ近くを流れる九頭竜川を大人たちが「大

川」と呼んでいた。そもそも農村部の日常生活では固有名詞を呼ばなくても不便はない。

しかし近現代になって人間の行動範囲や関心の対象が広がると、他の川と区別する必要から固有名詞での呼称が広がっていく。前述の高梁川の大川は備中国の下流部であるが、東隣の備前国には東大川と西大川が近接して流れていた。今では東大川が吉井川、西大川が旭川と呼ばれるようになっている。

流域に存在する都市を名乗るものもある。戦前の地図では秋田県の米代川は能代川と書かれているし、鳥取市を流れる千代川の下流部は河口の港町の名をとって賀露川と呼んでいたようだ。中国地方で流域面積が最大の江の川は、上流方から三次盆地まで地図に吉田川と記載されていたが、これは毛利元就が治めた城下町として知られる吉田にちなみ、JR芸備線が渡る橋梁は第一・第二吉田川橋梁と今でも旧称を名乗っている。吉田川は三次の町で馬洗川、西城川を合わせるが、そこから島根県境あたりまでは可愛川(「江の川」もエノカワと読める)と称し、島根県内の下流部が江の川(江ノ川・江川)であった。現在では吉田川を含めて江の川の表記であるが、山陰本線が河口近くで渡るのは郷川橋梁である。

沿岸流が穏やかな浅海に注ぐ川にはしばしば三角洲ができるが、このような場合は枝分かれしていくつかの「派川」が生じる。戦前は本流も含めてそれぞれ独自の名称が付けられていたため、どれが本流なのか図を見ただけではわからない。というより特定のひとつを決めるのは意味がないだろう。「四国次郎」たる吉野川は今でこそ本流が誰の目にも明らかだが、明治期の地図では北側から広戸川(現旧吉野川)、今切川、別宮川(現吉野川)と3種類が堂々と流れていた。

今尾恵介 (いまお・けいすけ)

1959年横浜市生まれ。小中学時代より地形図と時刻表を愛好、現在に至る。明治大学文学部ドイツ文学専攻中退後、音楽出版社勤務を経て1991年よりフリーライターとして地図・地名・鉄道の分野で執筆活動を開始。著書に『ふしぎ地名巡り』(筑摩書房)、『地図の遊び方』(けやき出版)、『番地の謎』(光文社)、『地名の社会学』(角川選書)など多数。2017年に『地図マニア 空想の旅』で斎藤茂太賞、2018年に『地図と鉄道』で交通図書賞を受賞した。現在(一財)日本地図センター客員研究員、日本地図学会「地図と地名」専門部会主査



表紙写真
「お花畑」

第35回写真コンクール金賞
菊地 三男●東京会

フィリピンアニラオダイビングリゾート、私のお気に入りの場所で毎年水中写真を撮りに行っている。海中の透明度は、それ程良くないが生き物が多い。変わった生き物も多い場所、そんな中で見た魚がお花畑にいるような感じだった、その美しい光景が感じられるように撮りました。

地名散歩 今尾 恵介

03 全国の会長紹介

12 伊能図完成200年記念事業
「伊能図完成200年記念の集い」開催
伊能図完成200年記念事業推進協議会
副会長・事務局長 堀野 正勝

15 続!! 愛しき我が会、我が地元 Vol.89
埼玉会/三重会

18 第71回「社会を明るくする運動」が推進する
「生きづらさを包み込むコミュニティづくり」
法務省保護局

20 オンライン会議とWebセミナー
～ 愛媛会での取組について ～

22 令和4年度 明海大学不動産学部総合型選抜(企業推薦)のご案内

23 会長レポート

24 会務日誌

26 お知らせ
土地家屋調査士、70年の歴史の集大成!!
「土地家屋調査士制度制定70周年記念誌」発刊について

28 測量機器総合保険(動産総合保険)のご案内

29 土地家屋調査士名簿の登録関係

30 調査士カルテ Map 通信
調査士カルテ Map について

32 日本土地家屋調査士会連合会業務支援システム
調査士カルテ Map

33 ちょうさし俳壇

34 公嘱協会情報 Vol.150

36 第35回日本土地家屋調査士会連合会親睦ゴルフ大会の
開催取りやめについて

37 日調連ウェブサイト更新情報

38 編集後記

全国の会長紹介

令和3年は、二年に一度の土地家屋調査士会役員の改選の年です。
広報部ではこの機会にと、全国の会長さんをご紹介します。是非、ご一読ください。

関東ブロック



さ さ き よしのり
佐々木 義徳 (東京土地家屋調査士会)

- (抱 負) 適正な業務と正当な報酬の運用
継続は力なり。繰り返しのない成功はありえない。常にプラス思考の習慣を繰り返す。
- (趣 味) マラソン、バイクツーリング、ドライブ(お伊勢参り)
- (座右の銘) 仁義道德・人間万事塞翁が馬



おおたけ まさあき
大竹 正晃 (神奈川県土地家屋調査士会)

- (抱 負) 土地家屋調査士制度の発展のために、できることを実行する
- (趣 味) 釣り(鮎、沖釣り)、ゴルフ、ツーリング
- (座右の銘) 八正道



たかやなぎ じゅんのすけ
高柳 淳之助 (埼玉土地家屋調査士会)

- (抱 負) 不動産情報を法令素材として現地に関連づけ、更に多種多様な付加価値を付けて発信する。
- (座右の銘) 古人の跡を求めず、古人の求めたる所を求めよ



あきやま まさみ
秋山 昌巳 (千葉県土地家屋調査士会)

- (抱 負) 台風とコロナに翻弄された2年間でした。引き続き、会と会員のために頑張ります。
- (趣 味) ゴルフ少々、園芸少々(どちらかと言えば無趣味)
- (好きな言葉) 「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」
「意志あるところに道は開ける」



きむら みちお
木村 道夫 (茨城土地家屋調査士会)

- (抱 負) 社会から必要とされ続ける資格者を目指す。
- (趣 味) 釣り
- (座右の銘) 真面目過ぎない



はしもと しんじ
橋本 伸治

(栃木県土地家屋調査士会)

(抱負) 常に感謝の心を持ち虚心坦懐にいかなる意見にも耳を傾け、風通しの良い会務運営を心がけて参りたい。

(趣味) JAZZ鑑賞(&時々演奏)・映画鑑賞・読書

(座右の銘) 仁・義・礼・智・忠・信・孝・悌

(尊敬する偉人) 勝海舟・安岡正篤・松下幸之助・田坂広志



はぎわら すみゆき
萩原 澄之

(群馬県土地家屋調査士会)

(抱負) 土地家屋調査士の専門的知見を社会に活かし土地家屋調査士の存在を高め、資格者団体として一層社会に浸透することを目指す。

(趣味) 愛犬との散歩、読書

(座右の銘) 而(に)今(こん) (今を生きる)



あかほり かずみち
赤堀 一通

(静岡県土地家屋調査士会)

(抱負) 会員の為の会務を推進していくと同時に、会員も組織の為に何ができるか共に考える運営をしたい。

(趣味) ダイビング、ゴルフ、映画鑑賞

(座右の銘) 何事に当たっても明るく楽しむ気持ちがあれば道は開ける。



あしざわ たけし
芦澤 武

(山梨県土地家屋調査士会)

(抱負) 研修を充実し、豊かな土地家屋調査士となることを目指してまいります。

(趣味) カメラ、無線、ガジェット、旅行

(座右の銘) 何事にも挑戦する。



いがい けんいち
猪飼 健一

(長野県土地家屋調査士会)

(抱負) 土地家屋調査士法第2条(職責)は国民のためでもあります。併せて会員のための規定でもあると認識し、会務運営に携わりたいと思います。

(趣味) 愛猫の世話・旅行・料理・温泉巡り

(座右の銘) 勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし



かねこ ひとし
金子 仁

(新潟県土地家屋調査士会)

(抱負) 次世代の育成を図り、魅力ある土地家屋調査士制度の充実・発展に貢献したい。

(趣味) 猫の額で野菜作り

(座右の銘) 立って半畳、寝て一畳

(その他) 愛犬、愛猫に癒されています。

近畿ブロック



なかばやし くにとも
中林 邦友 (大阪土地家屋調査士会)

(抱 負) いろいろな意味で土地家屋調査士を豊かにしたい。
(趣 味) トレッキング、沖縄三味線演奏
(座右の銘) 「感謝」に優る能力は無い



いけたに いちろう
池谷 一郎 (京都土地家屋調査士会)

(抱 負) 誰もが会務運営にたずさわれる組織運営
(趣 味) 美味しいものを食べること・飲むこと
(座右の銘) 一事が万事



みしま ひろゆき
三嶋 裕之 (兵庫県土地家屋調査士会)

(抱 負) 1 官民境界確認手続きの統一化(ペーパーレス含む)。
2 筆界を明らかにする業務の専門家である社会認知度の向上
3 更なる広報誌の充実
4 知事、市長等とのトップ外交
(趣 味) 釣り、テニス、ゴルフ
(座右の銘) 至道無為、不動心



ぬきやま しんいち
貫山 伸一 (奈良県土地家屋調査士会)

(抱 負) 国民に寄り添う土地家屋調査士会、会員に寄り添う会長を目指します。
(趣 味) ゴルフ、フリーダイビング
(座右の銘) 正直な心に神宿る



まつい としあき
松居 利彰 (滋賀県土地家屋調査士会)

(抱 負) これまで諸先輩方が培ってこられた会のあるべき本質的なものをしっかりと守りつつ、不易流行の理念をもって、時代々々の変化に応じた新たな取り組みにも積極的にチャレンジしていきたい。
(趣 味) ゴルフ、野球、スポーツ観戦
(座右の銘) 人生二度なし



はっとり 服部 ただし 正 (和歌山県土地家屋調査士会)
 (抱 負) 土地家屋調査士制度発展・認知度アップ
 (趣 味) 少年野球指導、ゴルフ
 (座右の銘) 凡事徹底

中部ブロック



うめむら 梅村 まもる 守 (愛知県土地家屋調査士会)
 (抱 負) 土地家屋調査士制度の維持、発展のために尽力します。
 (趣 味) ゴルフ、ウォーキング
 (座右の銘) 捨てる神あれば拾う神あり



ふるお 古尾 けいいち 圭一 (三重県土地家屋調査士会)
 (抱 負) 「土地家屋調査士」の未来を創る！
 (趣 味) テニス、愛犬(秋田犬)と妻との散歩
 (座右の銘) 「ありがとう」感謝の心
 (尊敬する人) 江藤新平



うすい 臼井 おさむ 理 (岐阜県土地家屋調査士会)
 (抱 負) 岐阜会をひとつの家族と考え、その岐阜家長として恥じることのない活動を行いたい。
 (趣 味) 人間観察(いろいろな人との出会いを大切にして成長して行きたい。)
 (座右の銘) 本当の幸せとは金や地位、名誉ではなくより多くの信頼できる仲間をつくることである。
 (そ の 他) 法務局、岐阜県、岐阜県内の市町村とその地域との信頼関係を深め、表示登記制度、地図づくり、ADRなどの調査士制度を活用して、大規模災害や不動産に関わる問題解決について社会貢献して行きたい。



いわさか 岩坂 あきひろ 昭宏 (福井県土地家屋調査士会)
 (抱 負) 土地家屋調査士としての誇りを胸に、信頼と未来を育む。
 (趣 味) 写真撮影、模型作り、キャンプ
 (座右の銘) 「義理と人情」、「天命に従い、全てを受け入れる」
 (自虐ネタ) 役職のデパート、町の便利屋



いしの よしはる
石野 芳治

(石川県土地家屋調査士会)

- (抱負) この困難な状況下、ピンチをチャンスととらえ、自分たちのできる最大の事業を執行していきたいと考えています。
- (趣味) サッカー観戦(J2 ツエーゲン金沢サポーター)
- (その他) コロナが落ち着いたら全国の多くの仲間たちに会いに行きたいです。



なかむら ただし
中村 忠嗣

(富山県土地家屋調査士会)

- (抱負) 目指される土地家屋調査士の育成
- (趣味) 登山、東北めぐり
- (座右の銘) 自彊

中国ブロック



まつばやし つとむ
松林 勉

(広島県土地家屋調査士会)

- (抱負) 災害が発生しても境界を復元できる、また国民から必要とされる真の土地家屋調査士を会員と共に目指す。
- (趣味) 週に1日、運動がてらにゴルフ練習場に行くこと。
- (座右の銘) 同業者に後ろ指をさされない業務をすること。



すぎやま ひろし
杉山 浩志

(山口県土地家屋調査士会)

- (抱負) 4期目になります。コロナ禍だからこそ出来る事、コロナ禍でも前進できる事が沢山あるように思います。本会会員一丸となって難局を乗り越えます。
- (趣味) 最近は自粛で中々出来ませんが、友人達と美味しいお酒を楽しむことです。
- (座右の銘) 努力は実力を生み、実力は自信を生む、自信は幸運を呼び、幸運は勝利を掴む。



さなだ ふとし
眞田 太

(岡山県土地家屋調査士会)

- (抱負) 「土地家屋調査士制度」の発展・強化に努めます。
- (趣味) 旅行
- (座右の銘) 人生を例えるなら千紫万紅、座右の銘に囚われるな



えんどう きみあき
遠藤 公章

(鳥取県土地家屋調査士会)

- (抱負) 社会に貢献し、土地家屋調査士の認知度を高めたい。
- (趣味) 魚釣り・ドライブ
- (座右の銘) 一所懸命、一生懸命



^{みよし}**三好** ^{まさゆき}**正之** (島根県土地家屋調査士会)
 (抱 負) 土地家屋調査士制度の発展に寄与します。
 (趣 味) バイク(ツーリング&メンテナンス)
 (座右の銘) 上善如水

九州ブロック



^{ひの}**日野** ^{ともゆき}**智幸** (福岡県土地家屋調査士会)
 (抱 負) 組織における人材育成のために、多くの会員の皆様と意思疎通を図る。
 (趣 味) ゴルフ・美味しい料理とお酒を楽しむ。
 (座右の銘) 五徳「仁・義・礼・智・信」を大切にする。



^{とみざわ}**富澤** ^{ひろみつ}**弘光** (佐賀県土地家屋調査士会)
 (抱 負) 会員のためになる活動、又今後の土地家屋調査士の存在、新しい人材の確保を目指したいと考えております。
 (趣 味) 道の駅めぐり、ゴルフ
 (座右の銘) 人間万事塞翁が馬



^{ふなつ}**船津** ^{まなぶ}**学** (長崎県土地家屋調査士会)
 (抱 負) 土地家屋調査士制度の発展、業務拡充拡大
 (趣 味) ゴルフ、ソフトボール、ゲーム
 (座右の銘) 我ら調査士、結びは固し



^{あべ}**安部** ^{はるお}**晴夫** (大分県土地家屋調査士会)
 (抱 負) 制度制定100周年の時に、「土地家屋調査士ていいなあ。」と思われる資格団体になるように会の広報、仕事の充実にも努めたいと思います。
 (趣 味) スキー・スキューバダイビング
 (座右の銘) 一期一会



^{たなか}**田中** ^{ひでかず}**秀和** (熊本県土地家屋調査士会)
 (抱 負) 人を育てる。
 (趣 味) 映画鑑賞
 (座右の銘) やってみせ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば人は動かじ



みやわき けんしゅう
宮脇 謙舟

(鹿児島県土地家屋調査士会)

- (抱負) 三期目になります。新型コロナの終息を願います。
(趣味) バイク・読書
(座右の銘) 穏やかな日々を過ごす。



たにぐち かずたか
谷口 和隆

(宮崎県土地家屋調査士会)

- (抱負) 土地家屋調査士として誇りを持てる土地家屋調査士会にする。
(趣味) テニス・歴史書を読む・酒をたしなむ
(座右の銘) 古里の山河を愛する事が良い調査士の第一歩



ひが ていぜん
比嘉 定善

(沖縄県土地家屋調査士会)

- (抱負) 会員とともに行動する会を目指す。
(趣味) ゴルフ、サイクリング
(座右の銘) 蒔かぬ種は生えぬ。深い川は静かに流れる。

東北ブロック



まつだ じゅんいち
松田 淳一

(宮城県土地家屋調査士会)

- (抱負) いつも笑顔で集える組織をめざします。
(趣味) ガーデニング
(座右の銘) 報恩謝徳



おの であら まさのり
小野寺 正教

(福島県土地家屋調査士会)

- (抱負) 研修を充実しつつ、「土地家屋調査士」の社会的ステータスの向上を目指す。
(趣味) ゴルフ、野球、音楽鑑賞
(座右の銘) 鶏口となるも牛後となるなかれ



こんの しげる
今野 繁

(山形県土地家屋調査士会)

- (抱負) 会員の皆様の意見を尊重し、開かれた会務運営を目指します。
(趣味) サッカー観戦、家庭菜園
(座右の銘) 見る前に飛べ



おがさわら ひさお
小笠原 寿男 (岩手県土地家屋調査士会)

(抱負) 今より更に国民から必要とされる土地家屋調査士を会員の皆様と目指していきます。

(趣味) 楽しいゴルフ

(座右の銘) 浅い川も深く渡れ



ふるかわ かつみ
古川 克巳 (秋田県土地家屋調査士会)

(抱負) 財政の健全化、土地家屋調査士の資格維持のためにできることを少しでも

(趣味) 旅行(ジオパーク巡り)、アマチュア無線など

(座右の銘) 聞くは一時の恥聞かぬは一生の恥

(その他) 最後の2年間、頑張ります。皆さんよろしくお願ひします。



さんのへ やすひと
三戸 靖史 (青森県土地家屋調査士会)

(抱負) 「Strength In Numbers」数の力(NBAチームのスローガン)。単会の活動に置換えて意識すれば、会員個々又は役員個々の力を併せれば会全体として最大限の力を発揮することができるということ。会長としては青森会会員のため個々の力を集結させて、会全体の発展を目指します。

(趣味) 休日の午前はゴルフ、午後は庭の草むしり

(座右の銘) 人間到处有青山(どんな場所でも与えられたところでは必死にやります!の意)

北海道ブロック



むらた ひさと
室田 尚人 (札幌土地家屋調査士会)

(抱負) 札幌会、北海道の土地家屋調査士のため、北海道が抱える独自の諸問題を解決に向けて、一步でも前に進ませたいと思っています。

(趣味) 読書(数学・物理関連)

(座右の銘) 則天去私



すぎむら ひさや
杉村 久哉 (函館土地家屋調査士会)

(抱負) 土地家屋調査士の社会的地位の向上を目指す!

(趣味) 釣り、昨年からは始めたソロキャンプ

(座右の銘) 水滴石を穿つ



だいきょうじ みつぐ
大京寺 貢 (旭川土地家屋調査士会)

(抱 負) 諸先輩方に感謝。若い会員には土地家屋調査士の良さを伝え、後の人に引き継ぎたい。

(趣 味) 読書(歴史物)

(座右の銘) 鶏口牛後、案ずるより産むが易し



まるお のりつな
丸尾 教綱 (釧路土地家屋調査士会)

(抱 負) 2期目も「会員の将来を見据え、何をすべきか？」を基本に行動します。

(趣 味) バイク(日帰りツーリング)、読書(薬丸岳・伊岡瞬)

四国ブロック



くぼ としじ
久保 利司 (香川県土地家屋調査士会)

(抱 負) 元気な香川会を目指したい。

(趣 味) マラソン(制限時間内の完走)、登山、ボルダリング(肩の痛みに耐えて)

(座右の銘) 笑う門には福来る



にしおか けんじ
西岡 健司 (徳島県土地家屋調査士会)

(抱 負) 将来に希望の持てる土地家屋調査士制度の発展に、少しでもお役に立てられるよう努力してまいります。

(趣 味) 魚釣り、家庭菜園、コロナ終息を願っての旅行

(座右の銘) 雲外に蒼天あり



たなべ みつお
田邊 満夫 (高知県土地家屋調査士会)

(抱 負) 会員総役員の様な会員数の少ない高知会です。会員とともに運営していく気持ちで取り組んでまいります。

(趣 味) 特にない。今は、今春ゴルフを始めたので、連合会開催の親睦ゴルフコンペに参加することを目標に、日々練習している。



いけがわ しんいちろう
池川 晋一郎 (愛媛県土地家屋調査士会)

(抱 負) 温故知新、変化への対応、愛媛会の伝統堅持、会員一人一人の業務が制度広報となるよう会務の企画運営を行いたい。

(好きな言葉) Aita Peapea

伊能図完成200年記念事業

「伊能図完成200年記念の集い」開催

伊能図完成200年記念事業推進協議会
副会長・事務局長 堀野 正勝

1 はじめに

今年、令和3（2021）年は、伊能図（大日本沿海輿地全図）が文政4年7月10日（西暦1821年8月7日）、幕府に上呈されてから、丁度200年目にあたります。

そのことを記念し、伊能忠敬の業績を顕彰するため、伊能図完成200年記念事業推進協議会（以下「推進協議会」という。）を組織し、各種の記念事業を計画、関連行事を推進してまいりました。

行事の主催は、地図や測量の関係8団体（*）で構成された推進協議会で、日本土地家屋調査士会連合会様にも、その趣旨に賛同いただき、構成団体として参加いただきました。この他、共催団体として富岡八幡宮、（公財）江東区文化コミュニティ財団、令和の伊能大図をつくる会が参加し、国土地理院、江東区、香取市に後援を頂きました。

行事の内容を以下に紹介します。

2 伊能銅像建立20周年記念式典

令和2（2020）年10月17日（土）に富岡八幡宮本殿で、銅像建立20年の報告と伊能忠敬翁の顕彰参拝、続いて記念式典が、銅像前で関係団体により執り行われました。星埜推進協議会会長及び丸山八幡宮宮司の主催者挨拶に引き続き伊能家七代目・伊能洋様並びに銅像製作者・酒井道久様のご祝辞をいただきました。式典後には、タイムカプセル封入品の全容が、関係者にお披露目されました。

記念式典参加者は、関係者を中心に35名余でした。

3 伊能図完成200年記念の集い

伊能図完成200年記念の集いは、令和3（2021）年4月16日（金）～4月18日（日）の3日間にわたり、伊能忠敬の全国測量の拠点となった隠宅が東京都江東区内にあったことに因んで、江東区文化センターを会場に開催されました。

1) 伊能図完成200年記念式典

記念の集い2日目の4月17日（土）の午後2時から「伊能図完成200年記念式典」が建物3階のレクホールで行われ、来賓、関係団体の代表等80名ほどが参加しました。日本土地家屋調査士会連合会からは、

伊能図完成200年記念の集い

【大日本沿海輿地全図】は、江戸時代後期の測量家伊能忠敬が中心となって寛政12年（1800）から足掛け17年におよぶ測量により作製された日本全土の地図です。一般には「伊能図」と称され、大図（5万6千分の1）214枚、中図（21万6千分の1）8枚、小図（43万2千分の1）3枚で構成され、文政4年（1821年）に完成し、幕府に上呈されました。伊能図は江戸時代に作製された地図ですが、明治維新後も近代測量による地図が整備されるまで、国家の地図の作成に伊能図が利用されました。令和3年（2021年）は、伊能図の完成から200年目にあたることから、伊能忠敬の業績を顕彰するとともに、これから先も日本の近代化を支えた各地に残る伊能図を末永く守り伝えるため、伊能忠敬が測量の起点とした江東区において、「伊能図完成200年記念の集い」を開催します。

日時 2021年4月16日（金）～4月18日（日）

会場 江東区文化センター 最寄駅：東京メトロ東西線「東陽町駅」
下車1番出口より徒歩5分

伊能図完成200年記念式典 於：レクホール（3階）

日時 2021年4月17日（土） 14:00～15:00

参加費 4,500円（常連会参加費を含む）※関係団体により実施

記念落語会（一般参加：定員350人） 於：ホール

日時 2021年4月17日（土） 17:00～19:00

立川志の輔「伊能忠敬物語～大図への道～」

参加費 4,000円 チケット発売日時：2021年2月10日（水）午前10時以降

*購入窓口：江東区文化センター TEL 03-3644-8111

インターネット予約 <https://www.kc.or.jp/yoyaku/ticket/>

記念講演会（一般参加） 於：ホール

日時 2021年4月18日（日） 13:30～15:00 *入場無料（定員250人）

「伊能忠敬測量の日本地図を読む～200年前の日本の姿～」

星埜由尚（伊能忠敬研究会特別顧問、元国土地理院長）

伊能図フェスティバル（一般参加） 於：展示室、展示&談話ロビー、中庭

日時 2021年4月16日（金）～4月18日（日） 10:00～17:00

伊能図と伊能忠敬の測量機器の展示、伊能忠敬の測量体験、地図のミラ折りに挑戦

* 入場無料 3D 測量成果による「バーチャル富岡八幡宮」への参拝体験

主催：伊能図完成200年記念事業推進協議会

構成団体：日本土地家屋調査士会連合会 公益財団法人日本測量調査技術協会 一般財団法人日本地図センター 公益社団法人日本測量協会 一般社団法人全国測量設計業協会連合会 一般社団法人地図測量技術協会 一般社団法人日本クオーキング協会 伊能忠敬研究会

共催：富岡八幡宮 公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 令和の伊能大図をつくる会

後援：国土交通省国土地理院 江東区 香取市

伊能図完成200年記念の集いパンフレット



「伊能図完成200年記念式典」の主催者挨拶の様様

國吉会長ほか4名に参加いただきました。

式典は、主催者を代表して星埜推進協議会会長の挨拶に引き続き、野田勝国土地理院長、山崎孝明江東区長、宇井成一香取市長、丸山聡一富岡八幡宮宮司の来賓4名から祝辞が述べられました。

最後に、式のアトラクションとして、地元木場の木遣保存会「木響会」による木遣りが披露されました。また、参加者には記念の品として、令和の伊能大図「江戸」と「富士山」の2図が贈られました。

2) 記念落語会

「伊能図完成200年記念落語会」は、4月17日(土)午後5時からホールで開かれました。

落語会は、立川志の輔の独演会で、演題は「伊能忠敬物語—大河への道—」です。志の輔師匠自身が伊能図に出会ったところから、自身の体験をもとに、伊能忠敬の大河ドラマ制作に苦悩するドラマ作家を描いた1時間40分に及ぶ長編の創作落語です。この噺をもとに映画化も進められているそうです。お噺では、ドラマの脚本を依頼された作家が伊能図上呈の場面を見事に描いたが、伊能忠敬のドラマにはならなかったという「落ち」が待っていました。会場

の聴衆は、気が付けば志の輔落語に引き込まれていました。

会場には500名余りの席がありますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前後左右の席を空け、入場者数は、定員の半数の250人に制限されました。入場時には、検温と消毒をして、チケットも半券を自らちぎって箱に入れ、会場内でのマスク着用など、感染防止対策が徹底されました。



記念落語会の会場

3) 記念講演会

行事3日目の4月18日(日)午後1時30分から前日の落語会と同じホールで、星埜由尚氏による記念講演会が開催されました。会場の新型コロナウイルス感染防止対策は、前日の記念落語会と同様の措置が講じられ、参加者数も250人以下に制限されました。

講演の演題は「伊能忠敬測量の日本地図を読む—200年前の日本の姿—」で、伊能図から読み取れる200年前の日本の国土について、分かり易く紹介しました。

4) 伊能図フェスティバル

(1) 伊能図と伊能忠敬の測量器具の展示

伊能図は、アメリカ議会図書館の大図のうち、関東地方の25枚、国土地理院が保有する1/6000の江戸実測図南北2枚、伊能小図の複製図3枚などのほか、新たにコンピュータで再描画した「令和の伊能大図」4枚(江戸、横浜、小田原、富士山)などです。

このうち、関東地方の大図と江戸実測図は、談話室ロビーの床に敷き詰められました。特に、江戸実

伊能図完成 200 年記念落語会
立川志の輔「伊能忠敬物語—大河への道—」

主催：伊能図完成 200 年記念事業
推進協議会
顕彰団体：日本土地家屋調査士
士会連合会／公益財団法人
日本測量学会技術協会／一
般財団法人日本地図センタ
ー／公益財団法人日本測量
協会／一般財団法人全国測
量設計士協会連合会／一
般社団法人地理測量技術協
会／一般社団法人日本ワー
キング協会／伊能忠敬研究
会
共催：富岡八幡宮会館の伊能大
図をつくる会／公益財団法人
江東区文化コミュニティ財団
後援：国土地理院

2021 年
4 月 17 日 (土)
17:00 開演 (16:30 開場)

江東区文化センターホール

全席指定 一般 4,000 円
友の会 3,600 円
江東区民 3,800 円
※6 歳以上からご入場いただけます

チケット発売
2021 年 2 月 10 日 (水) 10:00～
ご予約・お問合せ
江東区文化センター
03-3644-8111 (9:00～21:00)
<https://www.kcf.or.jp/koto/>
テイクアウトチケットサービス
03-5624-3333 (9:00～21:00)
その他、江東区内各文化センター
総合市民センター、深川江戸資料館
でも取り扱います。

公益財団法人江東区文化コミュニティ財団が定める「新型コロナウイルス
感染症対策ガイドライン」に沿って公演します。
客席は定員の半数以下に制限し、1 席ずつ空けた席とします。ただし、
入場者数を増やすことが可能と判断した場合には 1 席ずつ空けた席を販売
することがあります。あらかじめご了承ください。

落語会のチラシ

測図は、地元の深川が詳細に確認できることから、見学者は地図の上に立って、200年前の地元の風景を思い描いているようでした。

展示ロビーでは、伊能忠敬の測量で使用された器具のレプリカが展示されており、見学者は説明パネルを読みながら伊能忠敬の測量方法を確認していました。なお、展示ロビーと談話室ロビーの入場者数は、3日間で700人余となりました。



江戸実測図をのぞき込む参加者

(2) ワークショップ(伊能忠敬の測量体験)

伊能忠敬の測量は、2点間の磁針(彎窠羅針)による方位と距離の測定(間縄、歩測)を繰り返す導線法で行われました。

この体験コーナーでは、彎窠羅針の代わりにオリエンテーリング競技に使われるシルバコンパスを使い、距離は歩測を使用しました。この方式は競技性もあり、親子連れや、家族で参加する人の姿が、目につきました。3日間の参加者は130人余りでした。



伊能忠敬の測量体験
シルバコンパスで方位角の測り方の説明を受ける参加者

(3) ワークショップ(地図のミウラ折りに挑戦)

「ミウラ折り」は、人工衛星の太陽電池パネルや大型の宇宙アンテナなどに携わった三浦公亮氏の発案による紙の折り方で、折り畳んだ紙を一瞬で開き、一瞬で元に戻せるという特徴を持つ「地図の折り方」の一つです。

使用した地図は、江東区の地理院地図とそこに表示されている自然災害伝承碑を表裏に印刷し、裏面に折線を入れた用紙が用意され、だれもが容易に折れる工夫がされていました。会場は、ホール近くの展示室で、3日間の参加者は120人ほどでした。

(4) 3D測量による「バーチャル八幡宮」への参拝体験

富岡八幡宮境内の3D点群データによる立体モデルが作成され、参加者は専用のゴーグルを装着することで境内の立体的な景色の中を自由に移動してバーチャルの参拝を体験していました。会場はミウラ折りと同じ展示室で、3日間の参加者は110名ほどでした。

4 おわりに

本事業は、1年ほど前に推進協議会を立ち上げ、4回の委員会と5回の幹事会で議論を重ね、漸く実現したものです。折しも新型コロナウイルス感染拡大の問題が重なり、実現も危ぶまれましたが、3回目の緊急事態宣言が発出される直前に開催できたことは幸いでした。

ご協力をいただいた、日本土地家屋調査士会連合会様をはじめ関係機関、団体等に対し謝意を表すとともに、準備から運営に携われた幹事の方々に改めて敬意を表します。

(*)「伊能図完成200年記念事業推進協議会」主催構成団体(順不同)

日本土地家屋調査士会連合会、公益財団法人日本測量調査技術協会、一般財団法人日本地図センター、公益社団法人日本測量協会、一般社団法人全国測量設計業協会連合会、一般社団法人地図調製技術協会、一般社団法人日本ウオーキング協会、伊能忠敬研究会

愛しき

続!! 我が会、我が地元

Vol. 89

埼玉会

『渋沢栄一ゆかりの地をまわってみました』

埼玉土地家屋調査士会 熊谷支部 糸井 尚之

筆者の地元、深谷市では現在NHKで放送中の大河ドラマ「青天を衝け」の主人公であり、2024年度の新一万円札の顔として選ばれた渋沢栄一で盛り上がっています。

歴史に全然興味が無い筆者ですが、業務で渋沢栄一関連施設の測量に幾らか関わった経緯から、ミーハー心で初めて大河ドラマも見ていることもあり、仕事とは関係なくゆかりの地を訪ねてみたくなったので、幾つかご紹介させていただきます。

旧渋沢邸「中の家」

営業時間 9:00 ~ 17:00 (最終入館16:30)
所 在 埼玉県深谷市血洗島247-1 (駐車場あり)
電 話 048-587-1100 (渋沢栄一記念館)
入 館 料 無料

「中の家」とは渋沢栄一が生まれ育った家の呼び名であり、屋号です。典型的な養蚕農家の建物で、木造2階建ての切妻造(本を伏せたような屋根の形状の一つ)です。

旧渋沢邸と呼ばれているものの、「渋沢栄一生涯」とされていないのは、現在の「中の家」は栄一の妹の婿である市郎が養蚕業の拡大のために、新しい母屋に建て替えたもので、残念ながら栄一が生まれ育った家ではありません。しかし、実際に栄一が帰郷した際に寝泊まりした上屋敷があったり、養蚕の蚕室として造られた2階部分(非公開)、そして母屋の東にある藍玉製造の作業所として使用した土蔵があったりと、栄一自身が幼少から青年期に家業として行っていた仕事の雰囲気、原風景を感じることはできます。当時としては大きな豪農の家であり、後には商売の事務所に使ったり、外国人留学生の学校としても使ったりしたそうです。

尾高惇忠生家

営業時間 9:00 ~ 17:00
所 在 埼玉県深谷市下手計236 (駐車場あり)
電 話 048-587-1100 (渋沢栄一記念館)
入 館 料 無料

渋沢栄一のいとこであり、学問の師であった尾高惇忠。渋沢栄一の縁で世界遺産にもなった「富岡製糸場」の初代場長を務めたりと深谷三大偉人の一人です。

生家には大河ドラマでも描かれていた、惇忠や栄一らが高崎城乗取り計画を謀議したと言われている部屋が現存しています。残念ながら非公開となっていますが、当時の雰囲気を感じるには充分だと思います。

また生家の裏には深谷市指定史跡の煉瓦造蔵があり、この煉瓦は渋沢栄一も設立に関わっていた日本煉瓦製造のものが使われているそうです。東京駅にこの煉瓦が使われているのは、あまりにも有名な話です。

渋沢栄一記念館

営業時間 資料室 9:00 ~ 17:00
講義室(アンドロイド) 9:30 ~ 16:00
(最終講義は15:30から)
(予約サイトもしくは電話からの事前予約制)

所 在 埼玉県深谷市下手計1204 (駐車場あり)
電 話 048-587-1100
入 館 料 無料

渋沢栄一ゆかりの遺墨や写真等の資料の展示や、渋沢栄一アンドロイドによる「道徳経済合一説」の講義を受講できるようです。(予約日程との都合がつかず行けませんでしたが。)期間限定ではないので、落ち着いたら行ってみようと思います。

渋沢栄一 青天を衝け 深谷大河ドラマ記念館

2022.1.10 (月・祝)までの期間限定(休館日なし)
営業時間 9:00～17:00 (最終入館16:30)
所 在 埼玉県深谷市仲町20-2 (駐車場あり)
電 話 048-551-8955 (入場券販売管理センター)
料 金 大人(18歳以上) 800円(640円)
小中・高校生 400円(320円)

※未就学児は無料

※かっこ内は団体割引後(20人以上)の料金

・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・～・

NHK大河ドラマ「青天を衝け」で実際に使用された小道具や衣装の展示などがあります。

中でも渋沢栄一の生家「中の家」を再現したセットは、大河ドラマの世界観を体感でき、当時の暮らしを身近に感じることができます。2階の蚕室や、渋沢家が生業としていた藍を栽培して染料とする藍玉

作りなどの模様が忠実に再現されていました。特に大河ドラマのメイキング映像が上映されているシアターでは、群馬県の広大な土地にオープンセットを組んでの撮影の模様や、俳優さんやスタッフの奮闘を見ることができます。ドラマを観ている人ほどより楽しめる内容でした。

ドラマ出演者のサインがずらりと並んでいるコーナーは撮影不可であるため、興味のある方は直接見に行ってみてはいかがでしょうか？

この他にも「旧煉瓦製造施設」や「誠之堂・清風亭」等ゆかりの施設はありますので、大河ドラマに興味を持たれた方は、新型コロナウイルスへの感染症予防対策をした上で観光されてみるのもよろしいのではないのでしょうか？



深谷市大河ドラマ館



ドラマ撮影時に使用されたセット。
田舎の農家って感じがします。



三重会 『愛しき我が三重県土地家屋調査士会の歴史』

三重県土地家屋調査士会 広報厚生部長 岡本 博人



私は、三重県土地家屋調査士会に入会して21年となります。土地家屋調査士制度制定70周年を迎え、制度の向上にご尽力いただきました先人の方々、現在の会員の皆様方に感謝申し上げます。

さて、制度制定70周年における広報活動の報告をさせていただきたいところでしたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、例年行っている広報活動も制限され、制度制定70周年における広報活動の報告がありませんので、我が三重県土地家屋調査士会の歴史について紹介させていただきたいと思います。

遡ること70年前、昭和25年11月1日に『津土地家屋調査士会』の名称で第1回会議が開催されました。その当時の初代会長は中尾多五郎氏であります。それから1年後の昭和26年に現在も現役でご活躍されております西脇正孝氏が入会されております。「三重会のレジェンド」といわれる西脇氏は御年93才でありながら未だ現場でもご活躍されております。「人生100年時代」を地で行く鉄人土地家屋調査士であります。

昭和36年6月25日に「三重県土地家屋調査士会」に名称が変更され、昭和42年12月15日に法人化となります。その当時の会長は雲林院忠雄氏です。そして雲林院忠雄会長時代に現在の三重の会報誌「BORDER」の前身の「会報みえ」創刊号が発行され

ました。現在の会報誌「BORDER」におきましては、津地方法務局長、三重県土地家屋調査士会会長の真面目な寄稿に始まり、ユーモアのある読切小説、会員の方の四方山話等バラエティーに富んだ内容となっており、年2回発行させていただいております。

時代は平成になり、平成2年5月15日に「土地家屋調査士制度制定40周年記念式典」、私が入会した年の平成12年5月24日に「土地家屋調査士制度制定50周年記念式典」が開催されました。その当時の会長は田中宏幸氏であり、「三重県土地家屋調査士政治連盟」が設立され、平成23年4月29日に現在の「三重県土地家屋調査士会館」が紆余曲折を経て完成に至りました。当時の会長は神戸照男氏であります。現在の「三重県土地家屋調査士会館」は事務局、大会議室を備えたモダンな造りとなっております。

そして、神戸照男会長時代の平成25年12月20日に我が三重会広報キャラクターの「測っ虎」のデザインが完成しました。デザインについては某会員の原案で当時の広報厚生部で作りました。三重県ゆかりの藤堂高虎をモチーフにした「測っ虎」は三重会に欠かせない愛される存在となっております。現在ではLINEスタンプ等様々なグッズで「測っ虎」が使用されております。



令和になり、現三重会会長は古尾圭一氏であります。今まで経験したことのないウイルス感染の拡大により、会務の運営について困難なところではありますが、会務経験豊富な古尾会長の下で三重会一同困難に立ち向かっていく所存であります。

以上、駄文ではございますが、我が三重会を紹介させていただきました。

以上、駄文ではございますが、我が三重会を紹介させていただきました。

第71回“社会を明るくする運動”が推進する

「生きづらさを包み込むコミュニティづくり」

法務省保護局

令和3年、“社会を明るくする運動”は、第71回を迎えます。

今回のテーマは、“#生きづらさを、生きていく。”です。

犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動である“社明”^{しゃめい}は、犯罪や非行の背景にある生きづらさへの理解と、生きづらさを包み込むコミュニティづくりに取り組んでまいります。

1 コロナ禍が露わにした“生きづらさ”

“社明”は、戦後の荒廃した社会の中で非行少年の増加を憂えた東京・銀座の商店街の有志が開催した「銀座フェア」が起源です。当時の商店街有志の方たちが、不幸な少年たちの将来をどうにか希望のあるものにしたい、暗く困難な社会を明るく照らし出したい、という願いを自然と抱くようになったことは、想像に難くありません。

そして、今はこのコロナ禍という困難な時代です。“生きづらさ”を抱えながらも、人と人との絆を失わず、支え合いながら暮らしていきたい、社会をよりよいものにしていきたいという現代の切実な願いは、“社明”がその始まりから持つ理念と共鳴するのではないだろうか。そのような考えから、今年の“社明”のキーワードを「生きづらさ」に据えました。

2 “生きづらさ”と持続可能性

SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」社会を目指すという目標は、この令和の時代において、いまだ取り残されている人たちは誰なのか、という問題意識を照らします。犯罪や非行が起きた背景を考えると、経済的・社会的貧困、虐待やいじめの問題、孤独や孤立の問題、様々な依存の問題等、犯罪や非行をした人たちは、それぞれ“生きづらさ”を抱えていることが少なからずあります。

しかし、“社明”は、“生きづらさ”を一つの背景として犯罪や非行に至った人が、自らの罪としっかり向き合って立ち直ろうとするとき、例えその“生きづらさ”が消えることはなくとも、絆と支え合いにより、再び罪を犯すことなく「生きづらさを、生きていく」ことができると考えます。その先に、安全・安心な社会があり、そして、そのような社会こそが、サステナブル、持続可能なものではないかと思うのです。

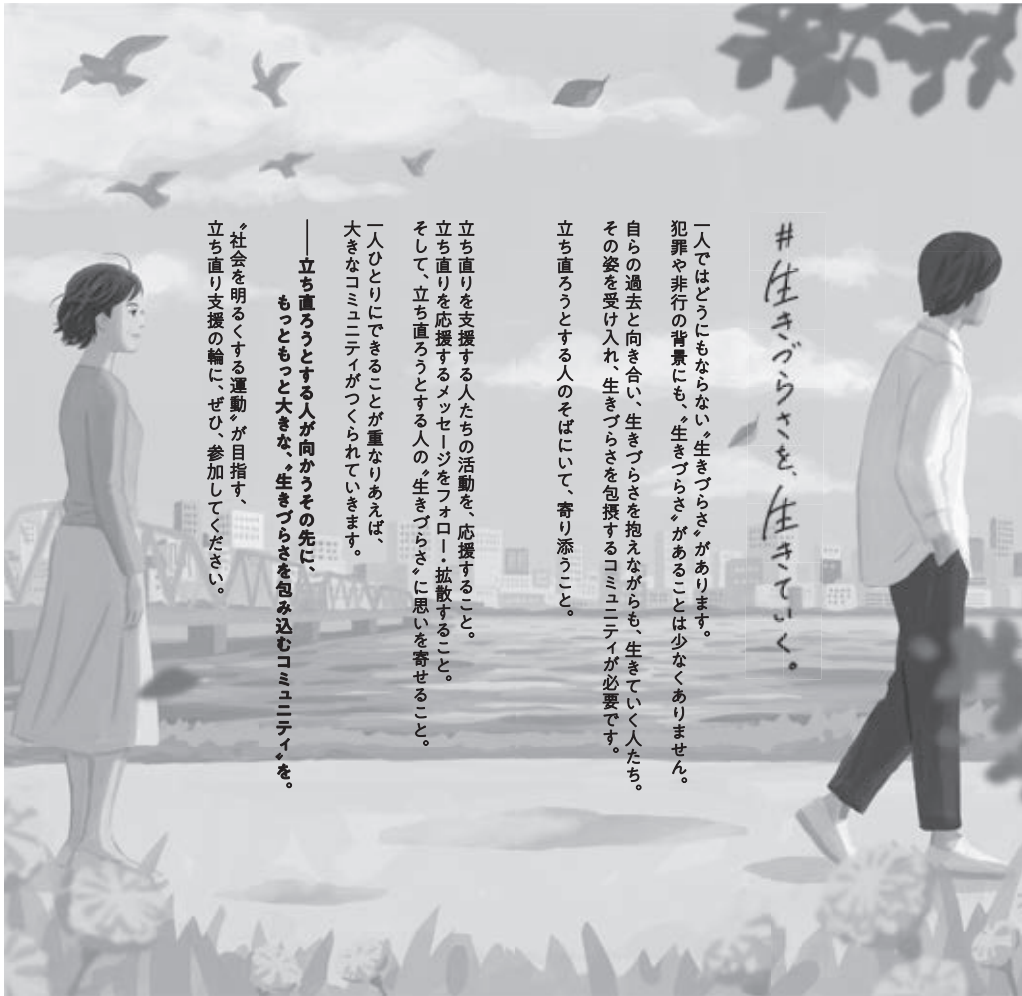
3 “生きづらさ”とコミュニティ

現在、立ち直りを献身的に支援してくださっているのは、更生保護に携わる多くの民間協力者の方々です。そして、私たちは、今この文章に触れてくださっている、より多くの個人、企業、団体等、様々な方々に、地域や立場等を越えて、立ち直りを支援するコミュニティの輪に参加していただきたいと考えています。どのような参加の在り方であっても、それぞれの支援が重層的に組み合わさることによって、層の厚い豊かなコミュニティが育っていくのです。また、そのようなコミュニティは、“社明”のもう1つの目標である「そもそも犯罪や非行の起こらない社会づくり」にも寄与するものです。

4 ウェルカムデジタル

毎年7月を強調月間とする“社明”は、今年も各地で広報活動を展開してまいります。コロナ禍の時代にも実施できる広報の在り方に積極的にチャレンジしていきたいと考えています。例えば、強調月間がスタートする7月1日に、お持ちのSNSで、「#社明71」「#生きづらさを、生きていく」と発信していただくことは、“社明”の考え方への共感と応援の声となります。ぜひ、地域の“社明”行事への御参加、そして、デジタルも活用した“社明”の考え方の発信に御協力ください。

このコロナ禍の時代に、文字通り社会を照らし出す明るいメッセージを発信・拡散していくことができますよう、本年も“社明”への御協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



#生きづらさを、生きていく。

一人ではどうにもならない、生きづらさがあります。
 犯罪や非行の背景にも、生きづらさがあることは少なくありません。
 自らの過去と向き合い、生きづらさを抱えながらも、生きていく人たち。
 その姿を受け入れ、生きづらさを包摂するコミュニティが必要です。
 立ち直ろうとする人のそばにいて、寄り添うこと。

立ち直りを支援する人たちの活動を、応援すること。
 立ち直りを応援するメッセージをフォロー・拡散すること。
 そして、立ち直ろうとする人の、生きづらさに思いを寄せること。
 一人ひとりにできることが重なりあえば、
 大きなコミュニティが広がっていきます。

—— 立ち直ろうとする人が向かうその先に、
 もっともっと大きな、生きづらさを包み込むコミュニティを。
 ♪ 社会を明るくする運動 ♪ が目指す、
 立ち直り支援の輪に、ぜひ、参加してください。



主唱 / 法務省
MINISTRY OF JUSTICE

彼の生きづらさって、
 私が頑張って分かったとしても、
 全部は分からない。

でも、決めたの。
 生きづらさを抱えて生きていく彼を
 受け止めようって。
 彼の生きづらさにも、彼の立ち直りにも、
 終わりはないのかもしれないけれど、
 私なりに寄り添うことならできると。

私もね、いろんな人に支えられて、
 やってきただけです。

そう。生かされて生きてきたんですから。

#生きづらさを、生きていく。

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ
第71回 社会を明るくする運動

7月は“社会を明るくする運動”強調月間・
 再犯防止啓発月間です。

社名 しゅめい



オンライン会議と Web セミナー

～ 愛媛会での取組について ～

会報5月号の「初めての動画撮影&編集作業」に引き続き、コロナ禍での会議や研修会等のリモート活用について、愛媛県土地家屋調査士の事例を基にご紹介します。

新しいことを始めるには、なかなかハードルが高いのですが、いざ始めてみるともう元には戻れないということもよくあります。登記申請も書面からオンラインに、また調査士報告方式へと変わっていく中で「オンライン申請を始めたらもう紙申請には戻れない」という声を多く聞きます。一度その利便性に触れていただきたいと思います。今回の記事も是非参考にしてください。

1 オンライン会議の準備

オンライン会議を開催するに当たっては、まず役員の事務所の機器と環境を確認する必要があります。各事務所においては、業務に必須であるパソコンとWi-Fiの環境は整っていましたが、Webカメラ、マイク及びスピーカーは持っていない方も数多くいましたので、これについては用意していただく必要がありました。

マイクとスピーカーについては、ヘッドセット(ヘッドフォンとマイクが一体となっているもの)を購入する方、カメラやマイクが内蔵されているノートパソコン、タブレット端末を利用される方もいます。

2 Web会議システム

Web会議システムは、Zoomを利用しました。100人まで参加できるプランが月額2千円程度で利用できます。会議のスケジュールの設定などは事務局で行っており、出席者にはあらかじめ「視聴URL」、「パスコード」をメールで案内しています。Zoomはアプリのインストール、ログインなしで利用できるため出席者は、開催時間になったら視聴URLをクリックするだけですぐに会議を開始することができます。

とはいえ、初めのうちは「音声が聞こえない」、「映像が映らない」などのトラブルが発生し開始までに時間を要しましたが、これも回数を重ねて慣れてくると問題はなくなりました(いまもインターネット環境によるトラブルは希にあります……。)。

3 オフラインとオンラインの同時開催

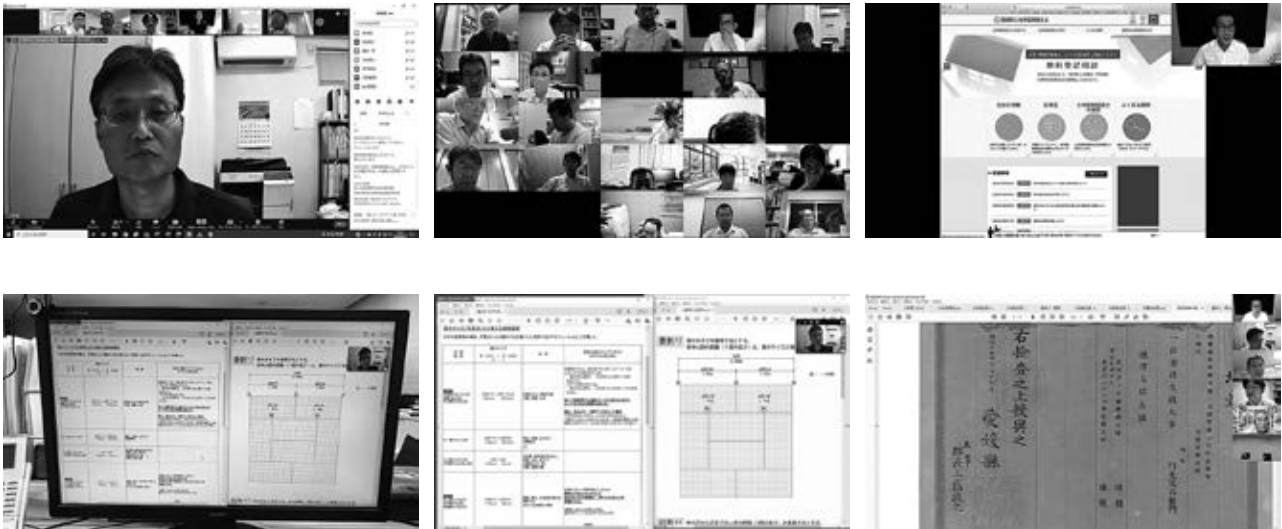
会議によっては、会議室に参集する役員(オフライン)とWebで各事務所(遠隔地)から参加する役員(オンライン)で開催することもあります。この場合においては、会議室と各事務所とをWeb会議システム(Zoom)でつなぎますが、会議室側では業務用の「会議用カメラ」及び「会議用のマイクスピーカー」をセットし、各事務所側では各自のパソコンの前で行うスタイルとなります。会議室に参集した役員によってはノートパソコンを持参していますが、Web会議システムに接続するとハウリングを起こしますので会議システムとしては利用できません。

このケースでは、「会議用マイクスピーカー」のセッティング状況によって、会議室の音声が各事務所の参加者にはよく聞き取れないことがストレスとなることもあります。また、会議室に「Webカメラ」が一台しかなく「会議用のディスプレイ」も備えていない場合は、出席者の表情が見えにくいなどコミュニケーションが十分でないということもありました。

これについては、来年度の予算で設備を充実させることで解消するようにはしていますが、今後、会議は一堂に集まって行うというスタイルを変えていく必要があるかもしれません。

4 Webによるセミナー

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年度は集合型研修を開催することができませんでした。その代わりとして、前述のWeb会議システムを利用しての研修会(通称「ウェビナー」)を開催しました。事務局をホスト(主催者)として設



定し、研修部役員も個人事務所から共同ホストになり講師も個人事務所から中継するという完全オンラインにより行いました。

これらの準備については、あらかじめ綿密な打合せを行い、数回のリハーサルも実施しました。当初受講者(会員)には資料をダウンロードしてもらい、講師は画面に向かって話をする事としていましたが、リハーサルにおいて受講者は資料を見るためにずっと下を向いていることになり首が疲れるとの意見もあったことから、方針を転換しパソコンの画面を見ながら受講できるよう講師のパソコンの画面を共有して、資料を映すことにしました。なお、講師の顔は、ワイプ(小窓)で映るようにしています(講義後の質疑応答についても、スムーズに行うことができました。)。ウェビナーは、セミナー会場からの中継と違い、講師が受講者にワンツーワンで直接話しかけているように感じることもメリットです。

今回のウェビナーの企画においては、会員の事務所で受講することを前提として、電話対応等業務に追われる時間を避けるため、開始時間を平日の19時から20時としましたが自宅で受講される方もいました。受講スタイルに自由度が拡がるというメリットも見い出せました。

また、講義終了直後にチャットでGoogleフォーム(Webで回答できるシステム)のURLを送信して、その場でアンケートに回答してもらうこととしました(同時にメールにもURLを送信。後日回答することもできるように配慮しました。)。アンケート結果

においては、会場に行く必要がなくて有り難い、資料も見やすいなど好評で継続を望む声が多く寄せられているため、今後はウェビナーを主軸として続けていくことにしています。

さらに、ウェビナーについては録画ができるため、不都合があって受講できなかった会員にも「見逃し配信」として期間限定で会員専用URLを公開して受講できることを可能にしています。

5 おわりに

アフターコロナにおける新しい生活様式は、新時代の幕開けです。Web会議システムにおいては、参加者の反応が分かりにくいということがデメリットともいわれますが、交通費や時間の削減になるほか、新しい会議の手法として、資料について画面を見ながら共同で作業を行ったり、議事録も出席者全員でリアルタイムに書き入れながら作成できるなど工夫の仕方によってはメリットも多く見い出せます。

ウェビナーの出席率もリアル会場で行っていたときと変わりありませんでした(出席率の増減は研修の企画によるところが大きいと思われます。)

人は習慣の生き物といわれます。また、楽を覚えるとなかなか元に戻れないともいわれます。もちろん人によりますが、オンライン会議に慣れてきたその時には、今の常識が変わっていることでしょう。

広報員 小野勇(愛媛会)

令和4年度 明海大学不動産学部総合型選抜(企業推薦)のご案内

明海大学不動産学部は、日本土地家屋調査士会連合会(日調連)との協定に基づき、団体会員の子弟及び関係先の子弟等を毎年受け入れています。不動産関連業界の人材育成・後継者養成のため、明海大学不動産学部の総合型選抜(企業推薦)の活用をご検討ください。

出願要領

◎**出願条件**：出願資格(詳細は入試要項をご確認ください)のいずれかに該当し、かつ、出願条件(ア)及び(イ)を満たす者

(ア) 明海大学不動産学部不動産学科での勉学を強く希望し、第一志望として入学を志し、合格後の入学を確約できる者

(イ) 日本土地家屋調査士会連合会(日調連)から推薦を受けられる者

推薦条件：土地家屋調査士を志望し、大学卒業後に土地家屋調査士業務に従事することを希望する者

◎**試験科目**：小論文及び面接 ※小論文・面接、提出書類等の評価を総合的に判定し、合否を決定します。

◎**願書受付期間等**

A日程 (1)願書受付期間…2021年10月28日(木)～11月10日(水)(出願書類提出は日調連宛・郵送必着)

(2)試験日…2021年11月28日(日) (3)合格発表日…2021年12月2日(木)

B日程 (1)願書受付期間…2022年2月22日(火)～3月4日(金)(出願書類提出は日調連宛・郵送必着)

(2)試験日…2022年3月17日(木) (3)合格発表日…2022年3月18日(金)

※募集人員は20名(A・B日程合計)です。

出願をご希望の方 まずは、**入試要項**をお取り寄せください！ **詳細**をご確認ください。

入試要項のお取り寄せ・お問い合わせは 日本土地家屋調査士会連合会(日調連)

または 明海大学浦安キャンパス 入試事務室 047-355-5116 (直)

明海大学 浦安キャンパス OPEN CAMPUS 2021

7/18(日)、8/1(日)、8/22(日)、9/26(日)、10/24(日) ※要予約

◎当日は、個別進路相談やキャンパスツアー、学科魅力発見コーナーなどにご参加いただけます。

詳細・予約については、本学公式ホームページ(<https://www.meikai.ac.jp>)をご覧ください。

※プログラムの内容などは変更する場合があります。

本学公式ホームページにてWebオープンキャンパスも公開中！学部紹介や体験授業等を視聴することができます。ぜひご覧ください。

会長レポート

REPORT

5月16日
～6月15日

5月

17日

株式会社きんざい金融法務編集部担当理事交代による挨拶の対応

一般社団法人金融財政事情研究会金融法務編集部長の田島理事が挨拶に見えられました。今後とも土地家屋調査士の情報発信や法改正等の動向把握をお願いいたしました。

27日

第78回定時総会の開催方法に関する打合せ

20日後に控えた連合会総会の開催方法につき、協議いたしました。各単位会の会長・代議員の意向等非常に難しい判断が迫っています。

6月

2日

法務省民事局民事第二課との打合せ(筆界確認情報の取扱いについて)

筆界の調査・認定の在り方に関する検討報告書に関し、法務省民事局民事第二課の担当官と、今後の取扱いについて協議いたしました。令和3年度に検討を重ね、令和4年度に全国の法務局・地方法務局の実地調査要領の改訂を進め運用を開始していく予定とのことでした。

3日

第2回理事会(電子会議)

6月15日開催の連合会第78回定時総会の開催方法及び役員選任方法に関し、開催については、委任の方法、役員選任については、全ての総会構成員の同意を得て郵便投票とすることを決定いたしました。総務部の理事、各副会長及び事務局の方々、本当にご苦労様でした。無事総会が成立することを望んでいます。

第78回定時総会に係る開催方法についての説明会(電子会議)

第2回理事会で決定した、連合会総会の開催方法及び役員選任の方法につき、各単位会の会長・代議員さんに説明し、同意をしていただけるようお願いし、全力で開催に向け努力することを説明いたしました。

6日

令和3年度土地家屋調査士新人研修

令和3年度の新人研修に出席し挨拶いたしました。コロナ禍の中、研修部の努力によって開催することができました。やはり、同期の仲間と顔を合わせ土地家屋調査士の業務や未来のことなど、一緒に話し合うことが重要だと思いました。何年後かには、受講者の中から講師として新人の皆様にご自身の経験等を話していただけるよう期待しています。

9日

第2回常任理事会(電子会議出席者あり)

総会の議事に関する質問要望に対する回答を協議いたしました。11日の事前説明会で回答をしたいと思います。

11日

第78回定時総会事前説明会(電子会議)

コロナ禍の中の総会開催となることから、当日の時間短縮のため、各議案に対する提案理由・説明等と質問等に関する回答をいたしました。総会当日には、今回の質問等とは異なった質問等に回答しようと思います。また、役員選任の郵便投票に関し全ての総会構成員の皆さんに同意いただき、総会の開催にこぎつけることができました。ありがとうございました。

14日

第3回常任理事会

総会の進行について、確認を行いました。皆さんよろしくお願いたします。

14日、15日

第78回定時総会議事運営等の打合せ

今回の総会は大変的な開催となるため、議長予定者の函館会杉村会長、徳島会西岡会長と打合せを行いました。議長様方よろしくお願ひいたします。

15日

第78回定時総会(電子会議出席者あり)

第78回定時総会を開催いたしました。単体会会長・代議員の皆様、連合会執行部、事務局の皆さん本当にありがとうございました。無事総会の議

案も全て承認いただきました。2年間土地家屋調査士の地位向上の方策として、オンライン調査士報告方式、職務規程・業務取扱要領、義務研修のスタート、関連士業との協力関係の構築、行政との信頼関係の構築等、本当にいろいろな施策を講じさせていただきました。これからの2年間もコロナ禍は続くと思いますが、連合会として取り組むべき案件は非常に多く、流れに乗り遅れてはいけません。是非新しい執行部一丸となって結果を出していただきたいと思います。2年間本当にありがとうございました。

会務日誌

5月16日～6月15日

5月

19日

第3回地区対策室会議(電子会議)

<協議事項>

- 1 法務省不動産登記法第14条地図作成作業規程解説書の改訂について

20日

第1回広報部会(電子会議)

<協議事項>

- 1 令和3年度のウェブ広報の充実に係る具体的事業内容について
- 2 令和3年度のこども霞が関見学デーで行うイベント内容について
- 3 令和3年度作成する広報ツールについて
- 4 令和3年度の「土地家屋調査士の日」に関する啓発活動の具体的実施内容について
- 5 全国一斉不動産表示登記無料相談会について
- 6 令和3年度の受験者の拡大に向けた活動(広告、ツール作成等)について
- 7 銀行担当者向け研修会に関する意見交換会について
- 8 各土地家屋調査士会及びブロック協議会との情報共有について
- 9 会報の編集及び発行に関する事項について
- 10 情報の収集に関する事項について
- 11 次期広報部役員への引継ぎ事項について

第2回財務部会(電子会議)

<協議事項>

- 1 第35回日本土地家屋調査士会連合会親睦ゴルフ大会について
- 2 土地境界基本実務(V)の在庫管理について
- 3 第78回定時総会における旅費交通費等の支給について

24日

第2回業務部会(電子会議)

<協議事項>

- 1 土地家屋調査士業務取扱要領について
- 2 登記測量に関する事項について
- 3 土地家屋調査士業務情報の利活用と拡充への対応について
- 4 次期執行部への引継ぎ事項について

27日

第1回総務部会

<協議事項>

- 1 第78回定時総会の運営について
- 2 大規模災害等における被災会員に関する被害状況報告への対応について

6月

3日

第2回理事会(電子会議)

<審議事項>

- 1 第78回定時総会の対応について
- 2 日本土地家屋調査士会連合会役員選任規則第2条の2第2項に規定するブロック協議会ごとに選出すべき予備監事の候補者の職務の代行順位について

第2回理事会における業務執行状況の監査(電子会議)

第78回定時総会に係る開催方法についての説明会(電子会議)

3日、4日

第2回総務部会(電子会議)

<協議事項>

- 1 第78回定時総会の運営について

9日

第2回常任理事会

<協議事項>

- 1 第78回定時総会の対応について
- 2 第78回定時総会事前説明会について

第2回常任理事会における業務執行状況の監査(電子会議)

11日

第78回定時総会事前説明会(電子会議)

会務・事業経過報告

第1号議案

令和2年度一般会計収入支出決算報告
令和2年度特別会計収入支出決算報告
令和2年度監査報告

第2号議案

役員等選任の説明

第3号議案

日本土地家屋調査士会連合会会則の一部改正(案)の説明

第4号議案、第5号議案

令和3年度事業方針大綱(案)の説明

令和3年度各部等事業計画(案)の説明

令和3年度一般会計収入支出予算(案)の説明

令和3年度特別会計収入支出予算(案)の説明

14日

第3回常任理事会

<協議事項>

- 1 第78回定時総会の対応について
- 2 大規模災害等における被災会員に関する被害状況報告への対応について
- 3 「土地家屋調査士業務取扱要領」(冊子)の追加送付について

15日

第2回選挙管理委員会

第78回定時総会

第1号議案 (イ) 令和2年度一般会計収入支出決算報告承認の件
(ロ) 令和2年度特別会計収入支出決算報告承認の件

第2号議案 役員等選任の件

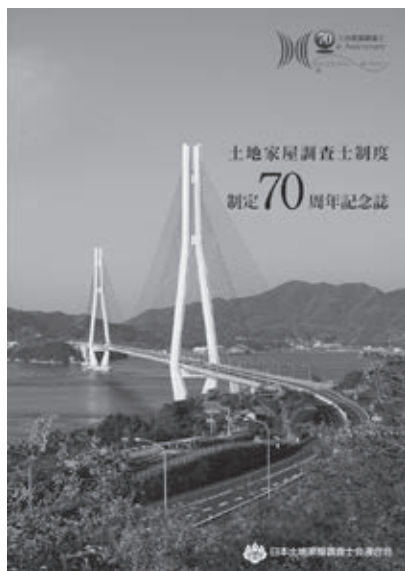
第3号議案 日本土地家屋調査士会連合会会則の一部改正(案)審議の件

第4号議案 令和3年度事業計画(案)審議の件

第5号議案 (イ) 令和3年度一般会計収入支出予算(案)審議の件
(ロ) 令和3年度特別会計収入支出予算(案)審議の件

土地家屋調査士、70年の歴史の集大成!!

「土地家屋調査士制度制定70周年記念誌」発刊について



土地家屋調査士制度制定70周年記念誌



(別冊)シンポジウム記録集

土地家屋調査士制度は、昭和25年(1950年)7月31日法律第228号により誕生し、令和2年(2020年)に制度制定70周年を迎えました。

日本土地家屋調査士会連合会では、現行の不動産登記制度に縛られず、多目的に利用できる情報(例えば位置情報など)を付加するなどして、将来の登記制度の可能性を考える契機とするため、全国の土地家屋調査士会と連携して登記制度創造プロジェクトを実施するとともに、研究論文、記念業務提携、記念写真コンクール、記念グッズ作成等を行いました。

令和2年10月26日(月)には東京国際フォーラムのホールB7において、全国土地家屋調査士政治連盟と全国公共嘱託登記土地家屋調査士協会連絡協議会との共催により、「つながる安心とひろがる未来を考える～令和時代、土地家屋調査士の使命～」をテーマに土地家屋調査士制度制定70周年記念シンポジウムを開催しました。

この度、日本土地家屋調査士会連合会では、これらの各種記念事業を土地家屋調査士制度制定70周年記念誌(A4判、カラー印刷、全5章)、別冊として70周年記念シンポジウムの記録集(記念誌及び記録集の内容とシンポジウム当日の講演、発表、提言等の動画を付録として収録)を発刊いたしますので是非ご覧ください。

土地家屋調査士制度制定70周年記念誌 編集長 川西昌彦(広報部)

土地家屋調査士制度制定70周年記念誌 概要

制度制定70周年記念誌の発刊に寄せて

日本土地家屋調査士会連合会会長 國吉正和

第1章 土地家屋調査士制度制定70周年記念事業

祝辞 内閣総理大臣 自由民主党総裁 菅 義偉

祝辞「土地家屋調査士制度制定70周年に寄せて」

法務大臣 上川陽子

祝辞「土地家屋調査士制度制定70周年に寄せて」

法務省民事局長 小出邦夫

祝辞「土地家屋調査士制度制定70周年に寄せて」

日本司法書士会連合会会長 今川嘉典

祝辞「土地家屋調査士制度制定70周年に寄せて」

日本弁護士連合会会長 荒 中

1 土地家屋調査士制度制定70周年記念シンポジウム

2 研究論文

(1) 土地法制と土地家屋調査士の使命：表示登記と筆界の専門家

獨協大学教授 小柳春一郎

(2) 所有者不明土地問題と土地家屋調査士の役割

——次世代に土地を適切に引き継ぐために

東京財団政策研究所研究員 吉原祥子

(3) 土地家屋調査士法改正と土地家屋調査士の未来(AI新時代に向けて)

弁護士 寶金敏明

3 その他の記念事業

第2章 この10年の記録

1 関連法の改正等

(1) 司法書士法及び土地家屋調査士法の一部を改正する法律

(2) その他関連法律等

① 空家等対策の推進に関する特別措置法

② 所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法

③ 表題部所有者不明土地の登記及び管理の適正化に関する法律

④ 土地基本法等の一部を改正する法律

⑤ その他土地家屋調査士業務関連

(調査士報告方式、土地家屋調査士職務規程)

2 各部のあゆみ

(1) 制度対策本部 (2) 総務部 (3) 財務部 (4) 業務部

(5) 研修部 (6) 広報部 (7) 社会事業部 (8) 研究所

3 全国土地家屋調査士政治連盟この10年のあゆみ

4 全国公共嘱託登記土地家屋調査士協会連絡協議会この10年間のあゆみ

5 各種シンポジウムの開催

第3章 各土地家屋調査士会の変遷

1 各土地家屋調査士会の変遷

第4章 資料

1 連合会歴代役員名簿

2 叙勲・褒章受章者名簿

3 災害対策本部における記録

第5章 回顧録

1 回顧録

(1) 悠久の百年を堂々と迎えるために～制度制定70周年に寄せて～

日本土地家屋調査士会連合会名誉会長 岡田潤一郎

(2) 時代の求める土業でありたい～より良い明日を目指して～

日本土地家屋調査士会連合会顧問 西本孔昭

(3) 連合会役員としての思い出

日本土地家屋調査士会連合会顧問 竹内八十二

(4) 『境界紛争ゼロ宣言!!』 地方の声を中央へ

日本土地家屋調査士会連合会顧問 林 千年

2 「土地家屋調査士制度制定発祥の地碑に関するこの10年の取組み」

長野県土地家屋調査士会松本支部長 清住利男

3 土地家屋調査士法制定日(昭和25年7月31日)生まれの会員投稿

「私の調査士人生」

静岡県土地家屋調査士会西遠支部 野上 孝

土地家屋調査士制度制定70周年に当たって

1 土地家屋調査士制度制定70周年に当たって

(各副会長(小野実行委員長は下記3))

2 土地家屋調査士制度制定70周年時の日調連役職員

3 土地家屋調査士制度制定70周年に当たって～次期80周年に向かって～

土地家屋調査士制度制定70周年記念事業実行委員長
小野伸秋

(別冊)土地家屋調査士制度制定70周年記念シンポジウム記録集 概要

開会の挨拶

小野伸秋(日本土地家屋調査士会連合会副会長)

主催者挨拶 『今、土地家屋調査士は何をなすべきか!』

國吉正和(日本土地家屋調査士会連合会会長)

記念講演 『揺れ動く時代における専門家』

寺田逸郎氏(前最高裁判所長官)

討論 『法改正!土地家屋調査士の使命』

倉吉 敬氏(中央更生保護審査会委員長・

元東京高等裁判所長官)

國吉正和(土地家屋調査士・日調連会長)

鈴木泰介(土地家屋調査士・日調連副会長)

基調講演 『防災・減災・国土強靱化』

～まちづくりにおける土地家屋調査士の役割～

和泉洋人氏(内閣総理大臣補佐官)

意見発表 『狭あい道路整備促進の必要性について』

宿本尚吾氏(国土交通省住宅局市街地建築課長)

田口富隆氏(岡崎市建築部次長)

米澤 實氏(土地家屋調査士)

提言 『法改正!狭あい道路解消の可能性について』

豊田俊郎氏(参議院議員・土地家屋調査士)

土地家屋調査士70年宣言

國吉正和(日本土地家屋調査士会連合会会長)

閉会の挨拶

椎名 勤(全国土地家屋調査士政治連盟会長)

測量機器総合保険 (動産総合保険) のご案内

日本土地家屋調査士会連合会共済会 測量機器総合保険の特徴

「土地家屋調査士賠償責任保険」とは異なりますのでご注意ください。

会員が所有・管理する測量機器(製品No.のある機器に限る)について

業務使用中、携行中、保管中等の
偶然な事故による損害に対し、
保険金をお支払いします。

特徴1

例えば

1

測量中誤って
測量機器を倒し壊れた。



2

保管中の測量機器が
火災にあい焼失した。



3

測量機器を事務所、
自宅等に保管中に
盗難にあった。



等

特徴2

個別にご加入されるよりも保険料が割安です。

保険金額200万円の保険料

測量機器総合保険(本制度): 34,780円

動産総合保険(個別加入): 64,800円

※縮小支払割合90%、免責15万円適用

約47%
割安

このチラシは動産総合保険の概要をご説明したものです。詳細はパンフレット等をご覧ください。
ご加入ご検討の方、パンフレットをご希望の方は桐栄サービスまたは三井住友海上までご連絡ください。

保険期間

2021年4月1日午後4時から2022年4月1日午後4時まで

※保険期間の中途での加入もできますので、ご希望の場合には桐栄サービスまでご連絡ください。

お問い合わせ先

日本土地家屋調査士会連合会共済会

取扱代理店

有限会社桐栄サービス

東京都千代田区神田三崎町1丁目2-10

土地家屋調査士会館6F

TEL 03(5282)5166

引受保険会社

三井住友海上火災保険株式会社

広域法人部営業第一課

東京都千代田区神田駿河台3-11-1

TEL 03(3259)6692

B20-102595 2022年4月1日

土地家屋調査士名簿の登録関係

登録者

令和3年5月6日付

東京 8198	伊集院敦嗣
東京 8199	落合 千廣
東京 8200	山川 武志
東京 8201	勝田 晶子
神奈川 3164	畑 裕司
神奈川 3165	末永 則雄
埼玉 2740	山田真二郎
千葉 2235	市原 健太
群馬 1086	茂木 光男
静岡 1839	三輪 義一
静岡 1840	永田 祐也
長野 2618	小山 智弘
大阪 3401	李 文奈
大阪 3402	中川 信之
兵庫 2543	松岡 純
兵庫 2544	奥村 昌平
兵庫 2545	吉井 淳一
三重 915	柴山 真一
富山 542	岡本 大
釧路 355	角鹿 敏広

令和3年5月10日付

茨城 1490	根本 香
京都 927	戸田 純椰
愛知 3061	大津 陽介
福岡 2378	井上 立之

令和3年5月20日付

東京 8203	平沼 大吉
東京 8204	野間口弘平
千葉 2236	川窪 悠太

茨城 1491	佐藤俊一郎
石川 684	中本 満
広島 1921	中木 信宏
岡山 1410	鶴木 元

登録取消し者

令和3年2月23日付

奈良 114	松下 宏
--------	------

令和3年3月21日付

福島 1315	角田 良平
---------	-------

令和3年3月23日付

神奈川 1616	杉本 行廣
鳥取 445	法橋 卓郎

令和3年4月10日付

愛知 1631	青山 知昭
---------	-------

令和3年4月15日付

岡山 1339	渡邊 哲也
---------	-------

令和3年4月17日付

大阪 2717	中野喜与三
---------	-------

令和3年4月23日付

佐賀 396	吉田 梅次
--------	-------

令和3年5月6日付

東京 6569	加藤 弘之
東京 6797	猿橋 正和
神奈川 2665	小坂橋義弘
大阪 2396	高井 東一
兵庫 1328	田原 芳広

兵庫 1411	吉田 康男
愛知 1946	鈴木 淳
長崎 553	林 謙藏
愛媛 714	兵頭 輝一
愛媛 845	二宮 和浩

令和3年5月10日付

埼玉 1274	一條 秀夫
埼玉 1306	新村 重盛
埼玉 2119	相沢 博
京都 425	辻井 健
熊本 893	友川 末廣

令和3年5月20日付

神奈川 3102	竹下 是央
福岡 2194	富安 誠
長崎 552	相川 正文
山形 1208	梅津 善実
札幌 986	河合 弘

ADR認定土地家屋調査士登録者

令和3年5月6日付

東京 8073	星川 直也
東京 8114	伴 秀哉
神奈川 3165	末永 則雄
茨城 1468	佐藤 郁也
静岡 1839	三輪 義一
広島 1908	黒田 耕志
山形 1236	佐々木建一
山形 1239	奥山 彰太



調査士カルテ Map について

日本土地家屋調査士会連合会理事 研修部次長 松本 嘉明

日本土地家屋調査士会連合会が提供している「調査士カルテ Map」を利用している会員はおよそ1,800人であり、知名度がまだまだ低いのが実情です。そこで、今後も会報誌やチラシを通じて、会員の方に周知したいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

「調査士カルテ Map」は、月額が発生するため、様子を見て登録したいと考えている会員が多いことは承知しております。そこで新しい試みとして、昨年12月に開催した中央実施型土地家屋調査士新人研修において、希望者に対して2か月程度の間、無料で調査士カルテ Mapを利用できるIDの発行を行ったところ、多くの会員に登録していただきました。

加えて本誌にも毎月、調査士カルテ Mapの広告を掲載しております。今後も新しい施策等について発信していく予定でありますので是非ともご一読ください。

また、昨年、調査士カルテ Mapの利用促進を目的として、まだ利用されていない方向けの初心者編と既に利用されている方向けの利活用編というイメージ動画を作成しておりますので、連合会ウェブサイトから会員の広場ページから視聴していただければと思います。

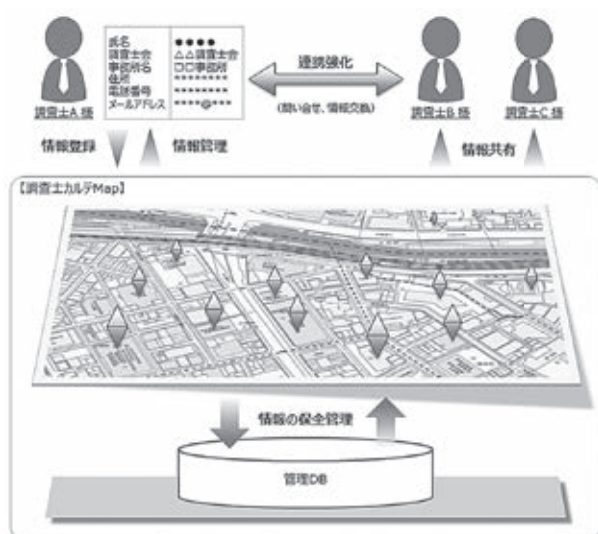
の保全管理をクラウド上で行うことができる土地家屋調査士限定のシステムです。調査情報を地図上の位置と紐付け、事件簿として一元管理することができ、土地や建物の基本情報、図面などのデータファイルを登録することで、自身の業務情報を安全に管理することができます。

また、他の土地家屋調査士が公開している業務情報を調査士カルテ Mapの地図上で検索し、基本情報を参照することもできるので、これから調査を行う土地や建物の隣接地における状況や担当した土地家屋調査士の確認が行えます。

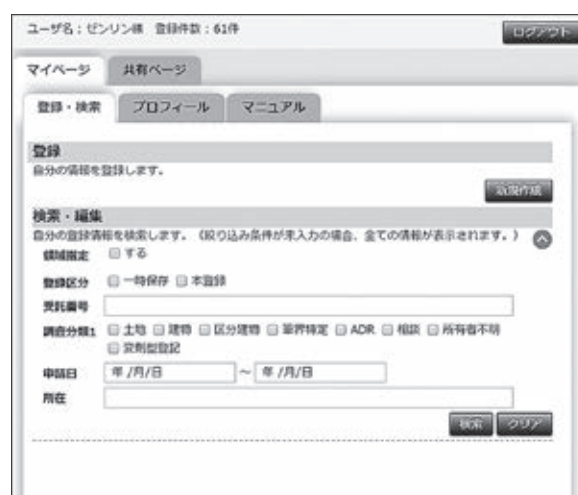


左カーテン概要

システム概要とイメージ



調査士カルテ Mapは、住宅地図を閲覧し、ダウンロードするだけでなく、大切な調査情報データ



左カーテンでは、土地家屋調査士が登記申請及び境界確認測量で調査した情報を所有者不明や変則型登記といった分類別に、調査士カルテ Map上に登録をすることが可能です。

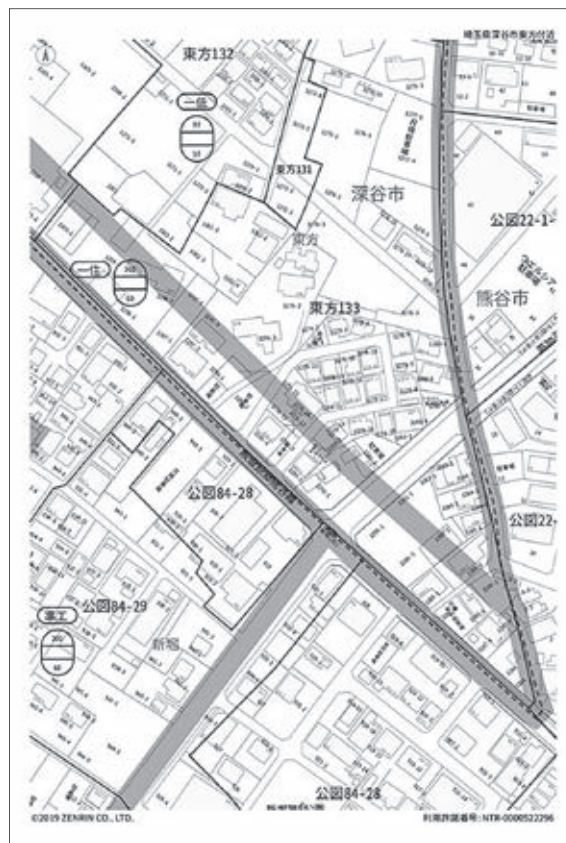
右カーテン概要



右カーテンでは、整備が行われている市区町村に限りますが、住所・地番、座標及び緯度経度等を入力することで全国の住宅地図をダウンロードし、複製許諾証を付してPDFに保存、印刷することも可能です。また、住宅地図上にsimaデータを取り込み、世界測地又は日本測地を選択すれば●点を表示することができます(下図参照)。



使用してよかった例



(図1)

現地を調べる前に、住宅地図等を利用して位置を特定すると思いますが、煩雑になるのが市町村界です。住宅地図が紙面の場合、それぞれの地域ごとに地図を用意し、つけ合わせを行う必要がありますが、調査士カルテ Map を利用すれば、他県との界でも同じように表示されます。図1で申しますと、深谷市と熊谷市の界付近ですが、境界を決める際、道路の対向側の大字、地番がどこであるかが分かれば、公図の取得する場所を把握でき、調査にかかる時間の短縮につながります。

今後、全ての会員を対象に調査士カルテ Map を無料で利用できるIDの発行も検討しておりますので、詳細が決まり次第、会報等でご案内します。



筆界をあきらかに、未来をすこやかに。
日本土地家屋調査士会連合会
 Japan Federation of Land and House Investigators' Associations

日本土地家屋調査士会連合会 業務支援システム 調査士カルテ Map

住宅地図・ブルーマップ
 全国閲覧可能！
※ブルーマップはゼンリン保有地区に限る

著作権許諾証つき
 地図印刷！

地図上で事件簿
 管理ができます！

SIMA図示や
 多彩な地図検索！



「業務効率化」と「成果保全・管理・活用」を同時に実現
 このシステムの活用が所有者不明土地・空き家・空き地課題への対策・対応の一手に！

新作のご紹介 より便利に使うための動画をご用意しました

1 基本編

調査情報の登録・保管・共有や机上での事前確認
 ができるだけでなく、業界全体での課題解決や
 次世代への業務継承につなげることができます。

基本的な地図の
 利用方法を紹介

全国の住宅地図やゼンリン整備地区のブルーマップ、用途地域の閲覧や選択した地点の距離、面積の計測を行います。さらにSIMAデータの取り込みや表示、印刷等、調査士の業務で必要な地図関連機能が一つにまとまっています。

2 利活用編

地図上に事件データを登録していくことで、
 地図ベースで自身の扱った情報を蓄積して
 いくことができます。

具体的にオススメの
 利用方法を紹介

事件情報を登録していくことで、自身の財産である事件情報を蓄積し、土地家屋調査士としての価値向上に役立てられます。

「調査士が登録した事件簿を閲覧することが可能」にしたい方もいます。

こちらで公開中▶

調査士カルテ Map

アドレス▶ <https://www.zenrin.co.jp/go/ch21/kh>



詳細・お申し込みは、
 日本土地家屋調査士会連合会
 WEBサイトをご確認ください



日本土地家屋調査士会連合会

▼連合会 HP 右下のこちらのボタンをクリック

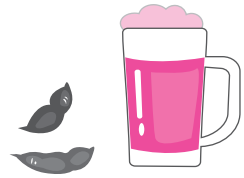


【お問合せ】

日本土地家屋調査士会連合会
 「調査士カルテ Map」問合せ窓口
 (E-mail) kartemap@chosashi.or.jp

ちょうさし俳壇

第434回



「氷店」

深谷 健吾

路地裏の裏になじみの氷店
風鈴を揺らして走る市電かな
滝音の大きくなりて道険し
一切を隠したつもりサンデラス
晩涼や本屋に寄つて帰ろうか

当季雑詠

深谷 健吾 選

茨城 島田 操

吟行と雖も四人菖蒲園
老鶯の声に歩を止め散歩かな
母の日に小包で着く祝物
支へ合ふ昭和一桁麦の秋
はづしたるバッヂ懐かし桐の花

山形 柏屋 敏秋

笥の刺身嬉しき山の宿
居間に薔薇活け退院の母を待つ
弔辞の筆遅々と進まぬ春の宵
五月晴れ温泉巡るぶらり旅
タクト振るごとくに揺れる猫柳

岐阜 堀越 貞有

釣談義やがて軒や鮎の宿
朝採りの野菜の籠に天道虫
鋸も鉋も電動三尺寝
浅草や女どうしで泥鰌鍋
干し烏賊の風吹くたびに足絡む

今月の作品から

深谷 健吾

はづしたるバッヂ懐かし桐の花

島田 操

「桐の花」とは、夏の季語。桐は中国または朝鮮の半島が原産地ではないかとされる落葉樹。材は軽くて柔らかく木目も美しい上に狂いが少ないので、古くから筆筒・長持・机・火鉢などに用いられた。樹皮は染料に、葉は駆虫薬として、とにかく広い用途を持つた有用な樹木。五、六月に小枝の先に大型の円錐花序をつけ、多数の淡紫色の花をつける。この花と葉を圖案化した桐の紋章とする。内閣総理大臣の紋章は「五七の桐」、法務省の紋章や筑波大学の校章などは「五三の桐」である。我が土地家屋調査士会は「五三の桐」の中央に測量の「測」を入れて圖案化されている。胸元のバッヂや境界図や会報の表紙など使用用途は多数である。作者の方も退会されて幾十年に。歳と共に会のシンボルである「五三の桐」を目にするたびに、現役時代への郷愁に駆られることであろう。会の「バッヂ」と季語の「桐の花」との取り合わせの妙により素晴らしい心象句となった。

柏屋 敏秋

居間に薔薇活け退院の母を待つ

「薔薇」は、夏の季語。バラ科の落葉低木。英名ローズはギリシャ語で赤を意味するロードンからきており、西洋薔薇の原種は赤系統の花が多い。現在まで一万五千種以上の園芸品種があるが、さらに毎年新しい品種が発表されている。二季咲き、四季咲

きの品種も多いが、俳句では一季咲きのものが開花する時季をとって初夏の季題とする。西洋原産の薔薇を庭などに植えて盛んに鑑賞する伝統は明治以降で、日本にもともとあったものは野茨、または単に茨と呼ばれる野生種であった。提句は母の退院の日の情景を詠んだ一句か。久しぶりに病院から帰宅する母に如何に喜んで頂くか。居間に母の大好きな薔薇の花を活けて暖かく家族で迎えることに。退院の母を囲む一家団欒の日常の喜びを活写した佳句である。

朝採りの野菜の籠に天道虫

堀越 貞有

「天道虫」とは、夏の季語。半球形をした小さな甲虫。つややかな体に赤や黄や黒の鮮やかな斑紋があり、玩具のように愛らしい。ほとんど食肉性で、主として蚜虫や介殼虫を食べる益虫である。よく見かけるものに七つの斑紋を持つ天道虫がある。小さな脚で枝や葉をすばやく歩き、後翅を割って飛び立つ姿は童話の世界を思い出させる。提句は朝食のサラダにデザートにと邸内の家庭菜園からみずみずしい夏野菜のトマト、キュウリ、レタス、ニンジンなどを採取している光景の一句か。その夏野菜の籠の中に赤・黄・黒の斑紋のある愛らしい益虫の天道虫が紛れ込んでいたとは。これは朝から縁起が良いやと。丹精して育てた新鮮な夏野菜をサラダにデザートにして朝食としましょう。正に自作・自演のユーモアのある清々しい時事俳句である。

第36回定時総会報告

令和3年6月2日(水) 9時30分から、前年度第35回定時総会並びに本年2月17日に開催いたしました臨時総会とともに、コロナ対策としてメイン会場をホテルメトロポリタンエドモントにて、全公連役員5名、役員選考委員長、議長、副議長以外についてはweb参加にて開催されました。



榊原会長

渡邊理事の司会進行により、全国の物故社員に対して黙祷を捧げ、花本副会長による開会宣言が行われた後、榊原会長の挨拶を経て、望月副会長により令和3年度全公連顕彰者の紹介が行われました。

顕彰者は、愛知協会伊藤秀樹社員・三重協会田中孝治社員・宮崎協会圖師健一郎社員・宮城協会浅野敏夫社員(以上顕彰規程第5条の2第1号)、静岡協会櫻井良一社員・岐阜協会市川貴英社員・岐阜協会伊藤真也社員・鳥取協会松南徹男社員・沖縄協会屋宜宣有社員・宮城協会西條宗夫社員・徳島協会清水等社員(以上顕彰規程第5条の2第2号)であり、おめでとうございます。

次に日本土地家屋調査士会連合会会長國吉正和様、全国公共嘱託登記司法書士協会協議会会長山田猛司様、全国土地家屋調査士政治連盟会長椎名勤様からご祝辞をいただいております、それぞれのご祝辞を榊原会長、堀副会長、花本副会長が代読ご披露させていただきました。

その後会議となり議長に千葉協会高橋理事長、副議長に栃木協会薄根理事長が選任され、

第一号議案 「令和2年度一般会計収入支出決算報告書承認の件」

第二号議案 「令和3年度事業計画(案)審議の件」

第三号議案 「令和3年度一般会計収入支出予算(案)審議の件」

第四号議案 「役員改選の件」

の各議案について慎重審議いただき、執行部提案通りに可決されました。

議事終了後、堀副会長から閉会の辞により11時30分に総会は終了いたしました。

令和3年度におきましては、コロナ禍の中で全国1か所に全協会が集まって研修会を行うのではなく、各ブロックに全公連役員担当理事が出前研修を実施して、各ブロック役員とともに意見交換も行き、その中で得た知識を将来の研修に生かすこととなりました。

また、その他重点的事業として、地図整備事業の推進と啓発、公共嘱託登記制度と公益事業推進に向けた官公署に対する啓発として、日調連・全調政連との連携、官公署及び地方公共団体等に対する公益事業の啓発を掲げ、より一層全国各協会が公益目的事業の推進を図り、最終的に不特定多数の国民の利益に繋がるための活動を行ってまいります。

最後に今回の役員改選に伴い、会長に榊原典夫(岐阜協会)・理事に望月繁和(静岡協会)・堀次夫(兵庫協会)・花本政秋(福岡協会)・伊藤秀樹(愛知協会)・渡邊英雄(山口協会)・赤間一秋(宮城協会)・嶋田智史(札幌協会)・岩村昌司(愛媛協会)、監事に薄根孝(栃木協会)・吉村秀一(熊本協会)各々の所属ブロック長の推薦を受け、熊谷直樹(滋賀協会)・高橋宏明(千葉協会)の2名が会長推薦理事として総会にて承認いただきました。

なお、総会終了後の理事会において、副会長の互選が行われ、望月繁和・堀次夫・花本政秋・伊藤秀樹各理事が副会長として選任されましたことをご報告申し上げます。



会場風景

午後1時から午後3時30分までは、事業推進担当から「選択される協会となるための事業推進」という活動テーマにより、発注官公署から必要不可欠な存在となるための事業推進のために、現在の業務内容及び組織力がその内容にあった活動を行っているかについて、



報告会 堀副会長

て、今一度協会の設立の歴史、受託内容を検証し、北海道ブロック、福井協会、兵庫協会の活動を発表していただき、現在各協会が抱える課題についての解決の糸口となるための提案を報告形式にて研修していただきました。

協会が目指す今後の組織に向けた対応についてまとめ、協会は発注者側に必要不可欠な組織体である

ことを認識いただき、そのためには組織力の向上、公益のための事業を行っているという意識の向上を持つことにより事業推進を進めていくことの必要性を感じました。

(全公連理事 熊谷直樹)

会議経過

4月26日	第2回役員選考委員会(web)
5月21日	第1回正副会長会議(web)
6月1日	第2回理事会(web)
6月2日	第36回定時総会及び事業推進からの報告会(ホテルメトロポリタンエドモントからのweb配信)
	第3回理事会(web)
6月21日	第2回正副会長会議(web)



ちしき
広報キャラクター「地識くん」

第35回日本土地家屋調査士会連合会親睦ゴルフ大会の開催取りやめについて

第35回日本土地家屋調査士会連合会親睦ゴルフ大会は、京都土地家屋調査士会及び近畿ブロック協議会のご協力により開催する予定で準備を進めておりましたが、この度の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、開催を取りやめることといたしましたのでお知らせします。

同ゴルフ大会への参加を予定されていた皆様には誠に申し訳ございませんが、ご理解のほどよろしくお願い致します。

日調連ウェブサイト更新情報

日調連ウェブサイトを随時更新しています！！
詳しい内容は、当ウェブサイトをご覧ください。



広報キャラクター「地識くん」

全国一斉不動産表示登記無料相談会

全国一斉不動産表示登記無料相談会について

全国の土地家屋調査士会では、7月31日の「土地家屋調査士の日」を中心に「第12回全国一斉不動産表示登記無料相談会」を実施します(地域により開催日程は異なりますのでお近くの会場・日程等をご確認ください)。

URL <https://www.chosashi.or.jp/activities/soudankai/>

出版物のご紹介

会報「土地家屋調査士」について

6月号を掲載しています。

URL <https://www.chosashi.or.jp/activities/publications/newsletter/>

70周年記念事業

記念業務提携について

公益社団法人 全日本不動産協会との事業提携基本協定を締結しました。

URL <https://www.chosashi.or.jp/activities/70th/>

新人研修

令和3年度第2回土地家屋調査士新人研修の実施について

日本土地家屋調査士会連合会は、新入会員、新人研修未修了者の皆様を対象として新人研修を実施しています。

URL <https://www.chosashi.or.jp/activities/training/newcomers/>

会員の広場

— 会員の方へのお知らせ —

会員専用ページに更新情報がありますのでご確認ください。

URL <https://www.chosashi.or.jp/members/>

～ IDをお持ちでない方 「新規ユーザー登録」からID申請について ～

※ID申請後、3日(土日祝日及び年末年始を除く)たってもID がメールで届かない場合、その旨を連合会へお知らせください。

※「会員の広場」は、2011年5月に登録方法が変わりました。

2011年5月以前に登録されたID・パスワードはご利用にはなれませんので、改めて登録をお願いします。

編集後記

I can never thank you enough

～感謝してもしきれない～

会報編集長として記す編集後記も今月号が最後となりました。これまでご寄稿いただきました多くの皆様に、この場をお借りして感謝とお礼を申し上げます。

2年前を改めて思い出すと、山口賢一前編集長(長崎会)から託された会報編集に関するたくさんの情報や熱い想いは、丈夫で美しい五三の桐の文様の風呂敷に、溢れんばかりに詰められていたように記憶しております。その風呂敷を広げ、これまでの2年間一貫之の精神で職務を遂行してまいりました。振り返ると就任してからの1年は、会議や取材、座談会、対談など、会報編集に必要な環境が整っていましたが、後半の1年は会報編集に必要な動線の確保が難しく、綱渡りの台割表作成や編集作業の末、毎号の校了作業を終えたときに、多くの人に支えられていることを実感いたしました。

小野伸秋広報担当副会長(岐阜会)、山田一博広報部長(京都会)、城戸崎修広報部次長(大分会)、川西

昌彦理事(広島会)からは、たくさんのアイデアや数多くの助言を、広報員の石瀬正毅(東京会)、田村佳章(神奈川会)、上杉和子(三重会)、藤井十章(兵庫会)、渡部宏(福島会)、小野勇(愛媛会)の皆様には、数々の情報提供やイベントの取材を行っていただきました。事務局では、堀江崇課長、亀山雅子職員には広報全般にわたってサポートいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。皆さんそろって頼もしく、何かと助けていただきましたことに心から感謝いたします。

次号からは新たな会報編集長が皆様のもとへ会報をお届けすることになります。どうか温かい心で見守っていただけますようお願い申し上げます。

最後になりますが、2年間ご覧くださいまして、ありがとうございました。現広報部における最後の編集会議の下、新広報部へ引き継ぐべくたくさんの情報やそれぞれの熱い想いを、2年前に託された風呂敷に包み込み、この編集後記とともに結ばせていただきます。

広報部理事 高橋正典(茨城会)

土地家屋調査士

発行者 会長 岡田 潤一郎

発行所 日本土地家屋調査士会連合会[®]

毎月1回15日発行

定価 1部 100円
1年分 1,200円
(送料別)

(土地家屋調査士の会員については毎期の会費中より徴収)

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町一丁目2番10号 土地家屋調査士会館

電話：03-3292-0050 FAX：03-3292-0059

URL：https://www.chosashi.or.jp E-mail：rengokai@chosashi.or.jp

印刷所 十一房印刷工業株式会社



広報キャラクター「地識くん」